

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市恩田地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

- ・当ケアプラザの担当地区の高齢化率は、約 17%ですが、あかね台中学校が新設されたことにより、周辺の新興住宅エリアの年齢層はやや若い人口の方がお住まいになっておりますが、徐々に高齢化は進む傾向にあります。
- ・地域の現状としては、各団体で長年活躍されている方のつながりが強く、昔からの関係性ができている地域特性があります。地域のニーズをより把握し、アセスメントするために、自治会や恩田地区社協、民生委員や老人会との関係を引き続き強化することが必要な努力と考えております。
- ・地域での課題としては、ケアプラザから離れている松風台、桂台、田奈町等の地域に対する働きかけを行い、関わりを積極的に行い、ニーズの把握により、各地域に出張したり、集いの場を構築していく等の調整を行い、柔軟に対応することが必要であると考えております。
- ・恩田地域ケアプラザの立地環境として、青葉区内では町田市との県境にあり、山間部にあたりますが、平成 27 年度にバス便が減るなど、交通の便がやや悪く、また坂道も多い為、高齢者世帯の移動手段が地域課題の声としてあがることが多いのが現状です。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・多様な相談者から、さまざまな相談をすべて受け付け、適切な機関や制度、サービスにおつなぎするとともに、ご相談者の了解のもと、個人情報取り扱いに配慮しながら、関係機関に質の高い情報提供をすることで連携強化を図って参りました。
- ・皆様の『かかりつけ相談機関』となれるよう、相談内容、お困りの事やご本人の現状、支援計画や対応内容などを記録し、それを相談支援に活用できるよう、整えて参りました。
- ・8050 問題と言われているように高齢者と中高年の引きこもりの子どもの世帯の増加に伴い、総合相談においては、より複雑化し、高齢者の介護相談ばかりでなく、その子への支援の必要性も出てきており、専門機関との連携強化を図り、チームによる支援体制を整えて参りました。
- ・育児で不安を抱える保護者からの相談には、必要に応じて適切に子育て支援の関係機関へと繋げていけるよう連携を図って参りました。

## (2) 各事業の連携

- ・事業に関わるボランティア同士の交流を図る機会を設け、ボランティア同士のネットワークづくりを支援して参りました。
- ・介護や育児の孤立化の予防のためにも地域住民が気軽にケアプラザに来館してもらえるよう地域活動交流部門・地域包括支援センター・生活支援コーディネーターが情報交換を行いながら、あらゆる世代向けの事業や講座等を行って参りました。
- ・5職種が有機的に連携を図り、地域の活性化へと相乗効果が発揮できるような体制づくりを構築して参りました。

## (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 所長 常勤 1 名
  - ・ 地域包括支援センター 常勤 4 名 非常勤 1 名
  - ・ 地域活動交流部門 常勤 1 名 非常勤 4 名
  - ・ 生活支援コーディネーター 常勤 1 名
  - ・ 居宅介護支援部門 常勤 3 名
- ・ 部門ごとの月例会議及び包括・地域交流・生活支援部門合同の 5 職種会議、職員全体会議、それぞれの場で情報共有を行い、研修計画に基づき常に学習への意欲を持ち、スキルアップに努めて参りました。
  - ・ 事業者との関係性を公平に保てるよう連携を図り、地域利用者がサービス事業者等の選定を希望する場合は、ホームページやサービスガイド等を示し、利用者、家族主体で選んでいただきました。

## (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 自治会、地区社協、民生児童委員、保健活動推進員、ヘルスマイト、老人クラブ等の会合や行事への積極的な参加により、連携、協力体制、顔の見える関係性作りに努めて参りました。
- ・ 地域住民や地域福祉の関係機関など、地域ケア会議や協議体への参加を促し、地域全体で課題を共有し解決策を共に考えていけるようなネットワーク作りを構築して参りました。
- ・ 医療機関訪問や協力医との連携などで地域における医療と介護の連携を図って参りました。

## (5) 区行政との協働

- ・ 区の地区担当者とは常に情報共有を行い、困難ケースへの支援、地域の課題等に対し、解決にむけて連携を図って参りました。
- ・ 区とケアプラザの協働事業にも（子育て支援から高齢者まで）積極的に協力し、常時、報告・連絡・相談を心がけて参りました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・「きらピカ☆まちびと」では、館内や恩田地区内の8か所（コミュニティーハウス、障害者グループホーム、サ高住、子育て拠点、信用金庫、近隣にある中学校、学習塾）に大きなマップを掲示し、来館者の書き込みにより情報を収集。確認の為にまち歩きをして、『魅力発見マップ@恩田』にまとめ、恩田地区の社会資源および良い所を誰でも分かるよう来館者に配布しています。
- ・「恩故知新隊」を結成し、地域の歴史を知る方と共に歩いたり、恩田地区に長年暮らしている方から生活の移り変わりを聞いたりして、地域の魅力を再発見しました。事業の企画段階から地域住民に参加して頂き、次年度は自主化する予定。
- ・「悠 YOUmen's」を2グループ実施し、60歳以上の男性が自宅でも簡単な料理を作れるように学びながら、仲間作りをしました。活動の一環として、ケアプラザの「ふれあいフェスタ」での出店や「みんなで昼食会（高齢者を対象とした食事会）」では食事会の作り手、「はらぺこキッズ（低学年の簡単料理）」のサポーター役として協力して頂きました。
- ・地域に住む主婦層を対象に「手芸かふえ」を月2回実施し、思い思いに手芸の材料を持ち寄って過ごせるカフェと手作り小物の講習会を併設し様々な方が自由に集う場を作りました。
- ・「生活お役立ち講座」を実施し、「四季に合わせたまち散策」「アロマで健康増進」「減災」等、様々なテーマを取り上げて、今すぐ生活に役立つ最新の情報を発信しました。
- ・未就園児を対象としたフリースペース「大きいいちご」「小さいいちご」「親子のひろば」を常設。更に、近隣にある保育園と共催で「もみじのおてて」を月1回、ボランティアの保育士とピアニストによる「あゆちゃんとうたってあそぼう」を月1回行い、子育て中の保護者が子育てを楽しみながら、仲間作りが出来る機会を増やしました。
- ・「おはやし体験会」では地域の伝統芸能を体験しながら、未来の担い手を育成致しました。参加者は3歳から80歳以上の方まで幅広く、参加者のほとんどがお囃子保存会のメンバーとなり、自主活動へ移行しました。
- ・隣接しているあかね台中学校の定期テスト前に自習室「おんちゃんの部屋」を開設。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・地域で活動する団体への部屋の貸出を行いました。
- ・活動団体に部屋の貸出があることをブログや広報紙を使ってPRしております。
- ・登録している団体の活動が誰でも分かるよう、ケアプラザ窓口に福祉保健支援団体の活動を紹介するファイルを置き、地域の方が参加しやすいように工夫しました。
- ・地域の方が福祉保健支援団体を知る機会を設ける為、各団体と「体験会」を実施し、地域の方が気軽に活動団体へ参加出来るよう支援しました。
- ・登録団体の活動を広く発信する為に館内の掲示板を活用しました。
- ・新たに福祉保健協力団体として登録される場合は部屋の貸出状況を案内し、比較的に利用の少ない夜間や週末等の時間帯を案内して活動しやすいよう配慮しました。
- ・福祉保健活動団体であるヘルスマイトと共催で「生き生き健康講座」、老人会に協力頂き月1回「将棋の会」を実施。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・「コーヒーで地域貢献」「お花のボランティア」「実験教室サポーター養成講座」を受講された方が、ボランティア人材として継続して地域で活動出来るよう支援しました。お花のボランティアはケアプラザの玄関前にお花を育て、ケアプラザに訪れた

方に喜ばれました。コーヒーボランティアは「介護者のつどい」や地域でコミュニティカフェを立ち上げる際に協力したり、区民活動支援センターの地域の担い手育成講座やチャリティーコンサート「あおばカノン」にも出張しコーヒーを提供しました。

また、新地域人応援講座で養成した写真グループには小さな事業から「ふれあいフェスタ」「あおばカノン」の他、近隣にある親と子のひろばの出張講座「はらっぱで遊ぼう」等にも記録係として協力頂きました。どちらも好きなことで地域に貢献出来るということで、継続して活動されています。

- ・あかね台中学校と連携協力し、定期テスト前にボランティア先生がいる自習室を実施しております。地域の方にボランティア先生として協力して頂いております。
- ・地域住民が中心となって立ち上げたコミュニティカフェ、「松風サロン」を安定した運営が出来るよう支援しました。
- ・「実験サポーター養成講座」を受講された方が講師となり、小学生を対象とした「科学実験教室」を実施しています。安全な教室を目指して、毎月実験を繰り返し試行し工夫しています。
- ・コミュニティカフェや地域の集まりに、ケアプラザに登録されている楽器演奏や演芸のボランティアを紹介し、集まりが盛り上がるよう支援しました。
- ・中学生や地域の方を対象とした「認知症サポーター養成講座」を実施しました。
- ・あかね台中学校の生徒会・福祉委員、各部活動に所属する生徒にフェスタに参加・協力して頂き、日頃の成果を発表し、地域活動のきっかけ作りを行いました。
- ・よこはまシニアボランティア説明会を実施し、日頃からケアプラザを利用されている方が、サポート役にもなるよう工夫しました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ブログを適宜更新し、事業の報告やこれから実施する事業の案内を行いました。また、「広報よこはま」に記事掲載を依頼し、広く事業の案内をしました。
- ・毎月作成している事業カレンダーをブログに掲載し、若い世代の方もケアプラザの情報を簡単に入手出来、事業に参加しやすいよう工夫しました。子育て中の保護者から手軽に確認出来ると重宝されております。
- ・小学生向け事業は近隣の小学校5校にご協力を頂き、児童数のチラシを配布して、事業に参加しやすいようにしました。高齢者向けの事業は高齢者の集まりの際に案内する等、対象者に適切に情報が届くよう工夫しました。大規模な集合住宅やスーパー、総合病院や協力医、薬剤薬局、サ高住、障害者グループホーム、郵便局等にチラシの掲示をお願いし、情報提供する場を増やしました。
- ・地域のコミュニティカフェや子育てひろば等、地域で活動する団体の集まりに参加し、地域の方との関係の構築に努め、情報収集をしました。
- ・事業を行った後にアンケートを取り、地域のニーズを適宜把握するよう努めました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・包括との地域ケア会議、アンケート等による地域アセスメントから抽出された地域の課題解決の目標をケアプラザ全体で取り組み、5職種会議や日頃の業務等で地域の様々な情報を伝え、生活支援体制整備事業を含めた連携が図れるよう体制づくりを整えていきました。
- ・区役所・区社協・他の地域ケアプラザと生活支援体制整備事業を推進できるように地域の情報の発信しつつノウハウを共有できるようにしていきました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・総合相談から生活課題やニーズの把握を行いグラフ化し、地域の課題を分析・共有しつつ圏域内のアセスメントに役立てました。
- ・自治会・老人クラブ・各種団体が行っている活動に参加し、地域住民との対話の中で、細かな困りごとやニーズ・地域の課題等、情報の収集を行いました。
- ・住民主体の活動やボランティア活動団体、企業・事業所等の把握に努め自治会毎にリストやマップを活用してまとめ、情報の共有ができるよう努めました。
- ・地域資源の情報をケアプラザ内や地域の事業所等で共有を行い、ケアマネジメントに活用できるよう包括や地域のケアマネジャー、各事業所と意見の交換を行いながら発信しつつ情報収集に努めました。

## (3) 連携・協議の場

- ・圏域内の自治会、老人クラブ、防災会議、サロン、活動団体のイベント等への参加をしながら、互いに連携が取れるよう支援をしつつ、住民主体の協議の場の把握に努めました。
- ・各地域で感じている課題の把握をしつつ解決に対して協議の場を持ち、目指す地域像を共有しながら地域づくりができるよう連携を行いました。
- ・連携・協議の場への参加を通じて、地域毎の特性や実情に合う生活支援・介護予防・社会参加となる活動やサービスの創設となるように働きかけ、現在ある活動は維持や発展ができるように支援しました。
- ・次年度からの新事業「よってこひろば」の運営について、青葉区役所、青葉区社会福祉協議会、青葉区生活視線センターほっとサロン青葉、青葉区基幹相談支援センターすてっぷ、青葉区障がい者後見的支援室ほっぷ、恩田連合自治会、恩田地区民生委員児童委員協議会、恩田地区社会福祉協議会、田奈地区老人クラブ連合会、恩田地区保健活動推進委員会、ボランティア団体等、幅広い機関との連携を図り企画・計画をしました。

## (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・連絡会等で区役所・区社協と常に連絡連携を取りながら情報の共有を行い、担当地域の課題と結びつけながら広域の地域課題から関連付けました。
- ・他の地域ケアプラザとも情報を共有しながら、お互いに共同で連携を取りながら広域の地域課題解決に向けて行いました。
- ・他のケアプラザと連携を取り、地域内では対応できない個別の生活支援ニーズに対するボランティアコーディネートに繋がりました。
- ・区内で取り組む青葉区地域活動リスト「青葉かがやく生き生き活動情報」初版発行に向け圏域内で93件の情報収集をしました。
- ・区内で協力して取り組んだ青葉区生活状況調査では、圏域内で77件の回答を得、分析しニーズの把握に役立てました。

# 4 地域包括支援センター運営事業

## (1) 総合相談支援業務

### ① 地域におけるネットワークの構築

- ・可能な限り地域に出向き、民生委員等関係機関との連携を密にはかり、支援のネットワークの強化を図りました。新民生委員への包括の周知や相互協力の重要性など認識していただけるよう定例会に出向き、地域ケアプラザの役割と機能を説明し理解を深めていただきました。
- ・実際に民営委員等地域関係者や近隣住民からの情報提供や相談にも応じ、要望と必要性に合わせ適切に支援・介入しました。

- ・ インフォーマル冊子の積極的な活用や地域のサロン、各種活動の把握を行い、様々な団体との有機的なつながりを構築しました。
- ・ ワンストップサービスを常に心がけ、あらゆる相談を『受け止め』『つなげ』『支援を続ける』ことを実践しました。

## ②実態把握

- ・ 総合相談で受けたケースの概要を、パソコン入力するシステムを開発し、活用することで情報の共有と検索、同類の相談を集計したり相談の傾向を知ることができるようにしています。
- ・ 区役所や区社協等から、エリア内の高齢化率や介護保険利用状況などの統計資料を包括内で共有し、地域ケア会議や個別支援に活かすことができました。
- ・ ご利用者様アンケートを実施し、自由記載欄の一言も真摯に受け止め、より良い支援に繋げました。
- ・ 総合相談の内容を分析し、エリアの傾向・特徴を考慮したインフォーマルサービスなどの構築を5職種で検討しました。

## ③総合相談支援

- ・ ご相談者様の思いを尊重しながら迅速で適切な支援ができるよう心掛けました。
- ・ 包括内の誰でも継続相談が可能になるよう受けた相談は一元的に管理し日誌や相談票で情報共有し、パソコンシステムで検索し概要をつかめるようにすることで、ご相談者様や関係機関からの継続した相談・問い合わせに対応できるようにしています。
- ・ 複雑化・多様化する相談にも適切に対応できるよう関係機関との連携を深め、参加した研修は会議内での伝達研修など職員全体のスキルアップに努めました。
- ・ 介護保険の利用ばかりでなく地域のインフォーマルサービスも情報提供し、利用に繋げました。
- ・ ご相談いただいたケースについて、支援が停滞することの無いよう、連続・継続した支援を心掛け、解決・終結に向けた働きかけを意識して取り組みました。

## (2) 権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度の普及啓発講座を「介護者のつどい」において実施しました。
- ・ 法律の専門家による個別相談日を定期的に設けています。
- ・ 個別支援においては丁寧でわかりやすい説明で制度の理解を深めていただき、すみやかに申し立ての支援ができるよう心掛けました。
- ・ 消費者被害の防止策として消費者センターなどから送られてくる資料活用などで、最新の情報等を織り込みながら、被害の未然防止策として老人会やサロンなどにおいて注意喚起を促す講話などを行いました。
- ・ 国民生活センターなどから配信される消費者被害の情報を活用し、居宅介護支援事業所に毎月情報提供するとともに、民生委員や地域住民向けの集まりに出た際にも情報提供をしてきました。
- ・ 青葉区版エンディングノート「わたしノート」の書き方講座を奈良地域包括支援センターと共催で実施し、その機会ととらえて成年後見制度等の講演を法律専門職にさせていただきました。
- ・ ケアマネジャーや包括センター内の個別の支援ケースについて、成年後見制度や消費者被害防止の視点を常に持ち、主体的に情報提供や支援介入を行いました。

## ②高齢者虐待への対応

- ・ 認知症の方のいる世帯、精神疾患や障害がある同居者がいる場合や無職・ひきこもりの家族と同居など、ハイリスクな世帯への支援に力を入れ虐待予防の視点で関わりました。
- ・ 早期発見のために、ケアマネジャー、民生委員等、地域の協力機関との連携に努め、通報・相談しやすい関係性を築くとともに、継続した支援にあっても連携・協力を密にとるようにしました。
- ・ グレーケースや疑いの段階でも相談票を提出し区との連携・役割分担により適切な支援を行いました。
- ・ 介護者の負担軽減のため、また就労者でも参加できるよう「介護者のつどい」を土曜日の午後に開催し、行政書士などを交えて専門家の立場からの講話を実施しました。
- ・ 夫から妻への長年の DV や虐待疑いの段階で早期に介入し、小さな芽のうちに摘み大事に至らないような支援に努めました。

## ③認知症

- ・ 認知症の正しい理解のための普及啓発として、地域住民や中学生などを対象に「認知症サポーター養成講座」を3回開催しました。
- ・ 認知症の方の早期発見のために地域からの情報に常にアンテナを張り早期受診や支援に繋がるよう取り組みました。
- ・ 認知症初期集中支援チーム会議には、ほぼ毎回出席し専門家からのアドバイスを受けると共に、チームとの同行訪問を重ね、ご家族に受診の必要性の認識を深めていただきました。
- ・ 必要に応じて「青葉区高齢者安心ネットワーク」を情報提供し、認知症になっても安心した地域での暮らしができるよう支援に努めました。
- ・ 認知症が原因と考えられる、非衛生的な生活環境のセルフネグレクトのケースや、極度に受診を拒否するケースなど、区やケアマネジャーと連携して取り組みました。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 民生委員や保健活動推進員、老人会等の集まりに包括支援センター3職種と生活支援コーディネーターが一緒に出向き、地域包括ケアシステムや地域ケア会議、介護保険制度等について説明を行いました。
- ・ 地区の民生委員の見守り事業へ協力支援を行い、適宜個別にケースの相談や支援を行いました。
- ・ 地域のインフォーマルサービスや関係機関などの地域資源、社会福祉士が作成している「あおば生活情報」等の媒体を使用し、対象者の個別性に応じて情報提供をしました。相談対応や事業所訪問の時など、必要に応じて配布できるよう、ファイリングをしています。
- ・ 包括カンファレンスなどの場を活用し、関係機関等との交流や情報交換の機会を設けました。
- ・ 地区の民生委員の見守り事業へ協力支援を行い、適宜個別にケースの相談や連携した支援を行いました。
- ・ 生活支援コーディネーターが企画した、生活支援サービス事業所情報交換会に出席し、情報交換を行いました。次年度以降も様々な関係者との連携推進を目指し、一緒に企画・検討していきます。

## ②医療・介護の連携推進支援

- ・ 主任ケアマネジャー分科会やケアマネジャー連絡会等と協力・連携をし、医療関係者との情報交換会や勉強会の場に参加しました。在宅診療を実施している区内の医師との情報交換会は、ケアマネジャー連絡会で毎年1回開催しています。
- ・ ねっとわーく青葉も継続的に実施しており、地区別会議については今年度も担当者と協力しながら開催しました。
- ・ 地域ケア会議等を通じて医療介護関係機関と地域も含めた連携を深めることができました。
- ・ 毎年、近隣の包括と合同で、ケアマネジャーと訪問看護、薬剤師、在宅医療連携拠点を対象とした意見交換・勉強会を開催しています。
- ・ 在宅医療連携拠点とは随時連絡を取り合い、包括カンファレンスや地域ケア会議への出席を依頼しています。

## ③ケアマネジャー支援

- ・ エリア内の居宅介護支援事業所を月1回程度訪問し、情報提供や各種勉強会・研修の案内を行いました。顔を合わせた時や電話連絡でケアマネジャーと話をする機会に情報交換をして、ちょっとしたことでも相談が受けられるよう、まずは話をすることを心がけました。また、同行訪問をしたり継続的に話を伺ったりと、ケースに応じた相談対応をしています。
- ・ 支援困難ケースに限らず、相談については随時対応しています。区役所と連携を図りながら、同行訪問や担当者会議への出席、地域ケア会議の開催を通じて、ケアマネジメント支援に繋がるような視点を持ち、関わっていきました。
- ・ 新任ケアマネジャー支援として、主任ケアマネジャー分科会の担当者が中心となり、合同実習を開催しました。
- ・ 青葉区ケアマネジャー連絡会に参加し、運営をサポートしました。連絡会と協力し合い、主任ケアマネジャー企画の研修も年2回実施しました。
- ・ 近隣包括合同と、区内合同で、介護予防従事者研修を2回実施しました。ICFとインフォーマルサービスの活用をテーマとし、自立支援に向けたケアプラン作成に繋がるような内容を区と担当者と企画しました。

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 地域ケア会議については、テーマに応じて多職種の方に参加して頂けるよう、日程調整や事例選定をし、区役所と包括、地域の代表者で事前打ち合わせの上、開催しました。また、事例は3職種で検討をし、選定をしました。
- ・ 地域ケア会議を開催、会議を積み重ねることで、医療機関や介護保険事業者ばかりでなく、地域関係者もネットワークの輪に参加していただき、地域課題の抽出と解決に向けた方策を検討しました。



(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 要支援者に対して、自立支援に向けて生活機能向上に対する意欲を引き出し、自主的に介護予防に取り組めるよう具体的な提案を行いながら支援しました。また、総合事業へ移行された対象者へは、引き続き地域のインフォーマルサービスなどを紹介し、地域で支えあいながら生活ができる自信が持てるよう様々な関係機関と協力できるように日頃からの連携や協力体制を整えて情報提供を行いました。
- ・ 委託先のケアマネジャーに対して、担当者会議へ参加しました。介護予防支援業務に関する勉強会の実施（恩田地域ケアプラザにて介護予防従事者研修）や包括カンファレンスなどを通じて意見交換や情報提供の機会を設けて、連携を強化しました。
- ・ 困難なケースについては、区役所や関係機関と連携をしながら支援を行いました。また、日頃から顔の見える関係を構築し、早期に対応ができるよう関係性を深めていきました。
- ・ 介護予防に資する社会資源の発掘や把握に努め地域情報を整理しながら情報発信を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 介護予防普及啓発強化事業として、地域アセスメントから得られた課題を踏まえて介護予防に関する講座（COCOAコミュニティ・クッキング・アカデミー教室、スクエアスクエアステップ講習会等）や講演会（認知症について、腎臓、脳卒中の予防等）を開催しました。
- ・ 「GOGO 元気塾」を、桂台コミュニティハウスと萬福寺にて2クール開催しました。ケアプラザには遠くて来られない方も参加してもらうことができました。
- ・ ノルディックウォーキングは、継続して行っていますが参加人数が増えず自主化にはいたりませんでした。が、ノルディックウォーキングの体験会を行いはじめて参加した方から興味を持ってもらう事が出来ました。
- ・ 地域の老人会からは、認知症サポーター養成講座を依頼されて行いました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

- ・機械警備、消防設備、空調機器、電気設備、昇降機及び害虫駆除、植栽管理について、定期点検等の業務委託により、実施しております。
- ・館内の日常清掃・定期清掃について、委託業者を選定し、実施しております。
- ・設備総合巡視点検について、専門業者に委託し、総合的に施設の維持管理を行って参りました。
- ・平成30年度についても、毎月第4月曜日を施設点検日と定め、集中的に定期点検等を実施して参りました。
- ・毎日の業務終了時に、自主点検記録票をもとに全館をチェックし、不具合がないか日々の確認を行なっております。

#### (2) 効率的な運営への取組について

- ・事業の運営方針として、地域の利用者が自立した日常生活を営めるよう支援することを目標に、ニーズや要望を尊重し、公平中立にプランを作成し、地域のサービス事業者との連絡調整を行なって参りました。
- ・事業の実施に当たっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めて参りました。
- ・業務の見直しを行い、経費の削減、節約に努めて参りました。

#### (3) 苦情受付体制について

- ・利用者、地域住民等からの苦情受付について、苦情を受けた職員は速やかに所長に報告を行い、所長は法人本部、区役所との綿密な連携で対応を行います。苦情の内容については、苦情受付記録簿に記録し、情報の共有及び改善対策を講じて参りました。
- ・苦情処理に関し、窓口担当者及び管理者等、当事者の判断の他に公平な立場に立って苦情処理に関わる法人本部設置の第三者評価委員会の対応も必要に応じて行える体制を整えて参りました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ケアプラザ職員間の緊急連絡網を作成し事務所に掲示して迅速に対処が行える体制を整えて参りました。
- ・防犯・防災の緊急対応については警備会社との契約により対応に備えております。
- ・館内の各部屋、ホール、トイレ等に避難経路を掲示し、利用者へ防災の促しを行う。
- ・ケアプラザ内で定期的に防火防災訓練を実施し、防災時の行動について、常に意識を高めて参りました。
- ・天災・地震等緊急時の対応については、地域防災拠点・避難場所が隣接のあかね台中学校であることを職員間で周知し、利用者の誘導にあたります。
- ・災害時における在宅要援護者のための特別避難場所として、応急備蓄物資を備え、緊急時の対応に備えております。

#### (5) 事故防止への取組について

- ・ 定期的にはリスク検討委員会を開催し、運営上の事故やリスクについて、改善すべき案件について具体的な対策を検討、実施しております。
- ・ 毎年、定期的に事故防止の研修を行い、職員全体の意識向上に努めて参りました。
- ・ ヒヤリハットの事例があれば、検討会を適宜開催し、予防対策等の対策を講じております。
- ・ F A X 誤送信や個人情報漏えいの事故を予防する為に、定例会議や職場内研修での周知を定期的に行い、ダブルチェック体制で確認作業を行って参りました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報の保護に関する法律及び横浜市個人情報保護に関する条例、秘密保護に関する全ての法令並びに個人情報取扱い特記事項について、職場内研修や会議等の場を通して十分に理解するよう周知を図っております。
- ・ 利用者等の個人情報について、ファイル等は鍵がかかるキャビネットでの保管を義務付けて管理しております。

#### (7) 情報公開への取組について

- ・ 第三者評価制度に基づき、評価を受け、施設の取り組み事項について公表を行っております。
- ・ 利用者への事業案内、貸館の利用について、個人情報の取扱い、苦情処理等の対応、第三者委員の明示、居宅介護支援事業所運営規程、介護予防支援事業所運営規程等を掲示し、利用者への情報公開を行っております。

(8) 人権啓発への取組について

- ・「人権の擁護」と「権利擁護」について、全職員を対象に職場内研修を行い、子どもから高齢者までが集う保健福祉活動の拠点としての意識を高め、地域の誰もが安心して暮らせる地域作りについての認識を深めております。
- ・「人権」や「権利の擁護」について、幅広く、様々な問題がありますが、出来る限り、地域住民の皆様にも理解していただけるよう、掲示板やポスターでの啓発、ケアプラザでの事業等で機会に応じて職員からの啓発や、考えるきっかけとなるような取り組みを行なって参りました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・館内の施設について、日常清掃、定期全館清掃を業者に委託して実施しました。
- ・館内の敷地周辺部の植栽について、専門業者による管理を行い美化に努めて参りました。
- ・節電について、館内照明の管理と、エアコンの節電を徹底し省エネに努めて参りました。
- ・館外の外灯は、季節に応じて、点灯時間を適正に管理しております。
- ・廃棄ゴミ処理について、横浜市ルート回収を利用し、廃棄ゴミ分別の徹底を図って参りました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名		
社会福祉士	常勤兼務	1名		
主任ケアマネジャー	常勤専従	1名		
看護師	常勤専従	1名		
プランナー	常勤	1名	非常勤	1名

#### 《目標に対する成果等》

- ・要支援者に対して、自立支援に向けて生活機能向上に対する意欲を引き出し、自主的に介護予防に取り組めるよう具体的な提案を行いながら支援を行いました。また、総合事業へ移行された対象者へは、引き続き地域のインフォーマルサービスなどを紹介し、地域で支えあいながら生活ができる自信が持てるよう、様々な関係機関と協力できるよう日頃からの連携や協力体制を整え情報提供を行ないました。
- ・委託先のケアマネジャーに対し介護予防支援業務に関する勉強会の実施や包括カンファレンスなどを通じて意見交換や情報共有の機会を設けて連携を強化しました。
- ・困難なケースについては、区役所や関係機関と連携しながら支援をしていきます。また日頃から顔の見える関係を構築し、早期に対応ができるよう関係性を深め、虐待のネットワークミーティングの開催などスムーズに行うことができました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者の実費負担はなし。



#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・包括3職種及びプランナーそれぞれが互いに連携し、また委託先の居宅介護支援事業所とも良好な関係を築きながら支援してまいりました。
- ・個人情報には十分留意し、公平を期し、利用者のご家族が安心して自立した在宅生活を送れるように支援いたしました。
- ・インフォーマルサービスなどの情報提供も行き、地域に根付いた在宅支援を行いました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	133	136	135	135	139
10月	11月	12月	1月	2月	3月
139	146	146	142	139	138

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
介護支援専門員	常勤専従	3名
	常勤兼務	1名

《目標に対する成果等》

- ・地域包括支援センターをはじめ、行政機関や各関係事業所等との連携を大切にし住み慣れた地域での在宅生活を支援してきました。
- ・緊急対応ケース、支援困難ケースの受入を積極的に行い、職員全員で協力する体制を取り、連携を取りながら多職種連携に取り組んできました。
- ・本人の自立支援のみならず、家族支援も視野に入れ、総合的な支援が行えるよう努めてきました。
- ・介護支援専門員実務研修における実習希望があった際には、これを積極的に受け入れ介護支援専門員の育成に協力しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- サービス提供範囲内の利用者負担はなし。
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

4名の介護支援専門員が在籍しています。（管理者を含む）

介護支援専門員の経験年数は異なりますが、職員全体で情報共有し、様々な支援困難ケースにも取り組んでいます。

特定事業所加算Ⅲの事業所として、計画的な研修の実施および介護支援専門員一人一人が年間の個別計画を作成し、スキルアップを図りご利用者、ご家族様が安心し住み慣れた地域で生活が送れるように支援していきます。

また支援困難ケースでも適切に対応できる体制を整えています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
102	99	98	100	101	101
10月	11月	12月	1月	2月	3月
99	100	100	99	98	100

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
か～る軽体操	①概ね60歳以上	156,514	地活	156,514	133,200	0	133,644	9,430	13,440
	②444		包括						
	③1回300円		介護						
			生活						
なごみサロン	①どなたでも	17,800	地活	17,800	17,800	0	0	16,242	1,558
	②178		包括						
	③1回100円		介護						
			生活						
プラボラ恩田 のんびりボランティアの 日 いこいこ	①どなたでも		地活		0	0	0	0	0
	②9		包括						
	②無料		介護						
			生活						
おりがみキッズ	未就園児とその保護者	302	地活	302					302
	117名		包括						
	無料		介護						
			生活						
手芸かふえ	どなたでも	87,389	地活	87,389	64,500	22,150	61,248	26,141	
	225名		包括						
	1回300円		介護						
			生活						
うたの広場	どなたでも	99,679	地活	99,679	99,000		66,816	20,863	12,000
	334名		包括						
	1回300円		介護						
			生活						
骨盤底筋トレーニング塾	女性	182,632	地活	182,632	182,000		122,505	47,807	12,320
	373名		包括						
	350円		介護						
			生活						
生活お役立ち講座	どなたでも	18,041	地活	18,041	17,200		6,125	11,916	
	102名		包括						
	無料		介護						
			生活						
コーヒーで地域貢献	どなたでも	27,583	地活	27,583	26,650			27,583	
	41名		包括						
	300円		介護						
			生活						
実験教室	小学生	3,771	地活	3,771	2,400			3,771	
	12名		包括						
	200円		介護						
			生活						
悠YOUmen's②	概ね60歳以上の男性	145,092	地活	145,092	157,500			120,452	24,640
	240名		包括						
	500円		介護						
			生活						
恩古知新隊	どなたでも	43,858	地活	43,858	43,600		25,614	14,884	3,360
	257名		包括						
	200円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市〇〇地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
みんなで昼食会	概ね65歳以上の方	20,388	地活	20388	18500			20388
	16名		包括					
	500円		介護					
			生活					
母の日企画 アロマのバスフィズ作り	小学生	9300	地活	9300	9300			9300
	31名		包括					
	300円		介護					
			生活					
父の日企画 マグカップ作り	小学生	3,944	地活	3944	3800			3944
	19名		包括					
	200円		介護					
			生活					
はらぺこキッズ	小学生	10302	地活	10302	8500		5000	5302
	4名		包括					
	500円		介護					
			生活					
フラワーアレンジメント	どなたでも	17736	地活	17736	17000			17736
	17名		包括					
	1000円		介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
きらびか ☆まちびと	館内や地域にあるコミュニティーハウス、サ高住、塾、中学校、信用金庫、グループホーム、子育て支援拠点等に地域のマップを掲示し、そこにいらっしゃる方に書き込みをして頂き情報を集めた。その情報を集約し、地域の良い所を再発見するマップを作成した。	不定期 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはやし体験会	恩田地区に古くから続いている郷土芸能の担い手が減少している為、体験会を実施。これまで郷土芸能に触れたことのない子どもや地域の方に関心を持って頂く。上恩田杉山神社囃子保存会に協力して頂き、ひょっとこやおかめの踊りや獅子舞、太鼓を体験して希望があれば神社のお祭りに参加する。	月2回 第2・第4土曜日 15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はらぺこキッズ	小学校低学年が対象 火や包丁を使わない、子どもが1人でも実践出来る安全な調理法を学ぶ。 男性の料理の会「悠YOUmen's②」のメンバーを地域活動に繋げる。	7月25日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はらっぱで遊ぼう	近隣にある親と子のあそびの広場「あそびんご」との共催事業 子育てをしている養育者が子育て支援拠点を知る機会を作り、子育て不安を解消・軽減し、安心して子どもを産み育てる環境を醸成する為に身近な場所として活用出来るようにする。 奈良山公園に出掛け、どんぐりや落ち葉拾いをして自然に親しむ。自然観察や写真撮影はボランティアに協力して頂く。	11月9日（金）

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
もみじのおてて	恩田地区にある、もみじ保育園と共催。 毎月テーマを決め、子育ての情報を発信し、地域の子育て世代のサポートを行う。 子どもと保護者の関わりを深める為の体操や遊びを提案	5月～平成29年 2月まで 毎月1回 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
	子どもの月齢に合わせて、気軽に利用出来るフリースペース	小さいいちご 毎週月・水 53回

## 平成30年度 自主事業報告書

小さいいちご 大きいいちご 親子のひろば	スを常設。 保護者同士の交流を促し、子育て中の保護者の孤立を防ぐ。 12時～13時まではランチタイムとする。	大きいいちご 毎週火・木 50回 親子のひろば 不定期 83回
----------------------------	--	--

事業名	目的・内容	実施時期・回数
悠YOUmen's①②	2グループ活動中。 定年退職した男性の地域での活動の場づくり。 料理の集まりを通してボランティアとして活動出来るよう育成、ケアプラザ事業や地域の活動に参加していく。	①第1・第3月曜日 18回 ②第2・第4水曜日 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
骨盤底筋 トレーニング塾	ピラティス・エクササイズで骨盤底筋を鍛え、尿漏れや腰痛を予防・解消し、外出を控える等閉じこもりの生活になることを防ぐと共に、介護予防を意識する。	第1・第3火曜日 19回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お花のボランティア	ケアプラザや地域で活動するお花のボランティアを養成する。これまでボランティア活動をしたことがない方でも趣味を生かして、地域の活動に参加出来るよう繋げていく。	不定期 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手芸かふえ	思い思いに手芸の材料を持ち寄って楽しく過ごせるカフェと手作り小物の講習会を併設し、様々な方が自由に集う場	第1・第3火曜日 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場 @恩田	唱歌やフォークソング、流行の歌等を歌ったり、楽器を使ってリズムをとって音楽を楽しみ、地域の方同士の交流を深める。	第1金曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まちかど相談	行政書士による無料相談会	第2火曜日 第4土曜日 9回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
将棋の会	地域の老人会の囲碁・将棋の会に協力を頂いて実施。 将棋や囲碁を通して、地域の高齢者と子どもの交流の場を設ける。 老人会に属さない高齢者、特に男性の居場所作り。	第4土曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日企画 アロマの バスフィズ作り	小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。母の日に合わせて企画。 母親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める	5月13日（日） 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父の日企画 オリジナルカッ プ作り	小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。父の日に合わせて企画。 父親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める	6月17日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぶれいば〜く	気軽に利用出来る親子のあそび場。 保護者同士の交流を促し、子育て中の保護者の孤立を防ぐ。季節に合わせた行事や工作等を行い、子育てを楽しむ。	第4木曜日 12回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで昼食会	悠YOUmen'sによる、地域にお住いの独居の高齢者との食事会。	5月21日（月） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活お役立ち講座	生活に今すぐ役立つテーマ（健康維持・生きがい作り・防災など）を取り上げ、最新の情報を発信する。	不定期 7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あゆちゃんとうたってあそぼう	未就園児とその保護者の居場所作り。 童謡を歌ったり手遊びをして、パネルシアターとリトミックを楽しむ。 地域の保育士とピアニストのボランティアへ活動の場の提供。	第3水曜日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実験教室	身近にあるもので、物作りを体験し、科学に親しむ。 科学実験教室サポーターの活動として実施。	8月4日（日）

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コーヒーで 地域貢献	コーヒーボランティアがグループとして自主的に活動出来るよう支援する。月1回練習会を設け、コーヒー日和やフェスタ、地域活動等でコーヒーを提供する。	不定期 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おりがみキッズ	子ども達に伝承遊びの1つである折り紙に触れる機会を作る。未就園児を子育て中の母親の交流の場としながら、高齢者の参加希望者も受け入れ、異世代交流の場とする。	毎月第2火曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
恩古知新隊	昨年度「恩田今昔物語」に熱心に参加された方々に、企画の段階からご協力を頂き、自分達で作る講座を実施。地域の歴史ある神社等のお祭りに参加したり、地域に長くお住まいの方からお話を伺い、自分達の住むまちに愛着を持つ。	毎月第2月曜日 18回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おんちゃんの部屋	隣接するあかね台中学校の定期テスト前の自習室	不定期 18回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
自習室	近隣に図書館などの公共施設がない為、中学生の学習スペースの確保や地域の方が静かに読書をしたり学ぶ場として、土日祝日の空いている部屋を活用する。	土日・祝日 89回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
からだにいいことセミナー	病気に対する正しい知識を得て、情報を整理することで、疾患の予防に繋がると共に身近な医療機関や窓口を知る機会とする。 ・眼・膝と背骨・腎臓・認知症	不定期 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
水あそび	月齢を問わない、未就園児が親子で遊べる、夏季限定のフリースペース。	・8月2日、8日、23日、29日 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス会	「あゆちゃんとうたってあそぼう」「ふれいば〜く」合同企画。ピアノの音に合わせて、童謡を歌ったり手遊びをし、パネルシアターを見て楽しむ。 保育士とピアニストがボランティアで行う。子育て中の母親が孤立せず、子育てを楽しめるよう季節に合わせた行事を企画。	12月5日（水）

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	日頃、ケアプラザ事業などにご協力頂いているボランティアさんを労い、ボランティア同士が情報交換出来る場。	3月20日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体験会	当ケアプラザで活動中の団体Ⅱが継続して活動出来るよう支援し、地域の方にそれぞれの活動を知って頂く機会を設ける。団体の活性化により、来館者の増加を目指す。やさしいヨガ、背骨コンディショニング、健美操、空手、自彊術の5つの団体団体の日頃の活動に入り体験して頂く。	5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実験サポーター養成講座	地域でボランティア活動を経験したことがない学生から社会人、男性にも気軽に始めることが出来るボランティア養成講座。 子ども達に学ぶことの楽しさを伝える為、科学の専門的な知識がない方でも始められる。子ども達の教育を考え、地域住民の仲間作りを目指す。 定期的実施している小学生を対象とした科学実験教室のサポーターを養成する。	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生き生き健康講座	食生活等改善推進員との共催。 高齢者を対象とした食事の大切さを学習する講座。	12月6日（木）



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	認知症を理解し、サポーターの役割や自分に出来ることを考える。 近隣にある施設のメイトと協力し、認知症サポーターを増やす。	8月28日（火）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボランティアポイント説明会	日頃ボランティア活動をされている方が継続して活動しやすい環境を整える。 よこはまシニアボランティアポイント事業の説明	・4月13日（金） ・平成31年3月18日（月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋の怪談スペシャル・トーク	ケアプラザに来館したことがない方にも気軽に参加しやすい企画で、ケアプラザの機能を知る機会を作る	11月24日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かへる軽体操	【目的】 高齢者の健康維持と継続して集える場の提供、仲間づくり  【内容】 宝塚歌劇団出身で健康運動指導士の指導による椅子に座った軽いストレッチと体操	第2・4金曜日 24回

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
なごみサロン	【目的】 高齢者の交流の場と地域の活動団体の発表の場の提供。高齢者の状況・ニーズの把握を同時に行う  【内容】 地域の活動団体の演奏を鑑賞したりレクリエーションをしながらのんびりと交流をする。恩田地区民生児童委員の協力によるサロンの運営	第1水曜日 (1.5.8月休み) 9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラボラ恩田のんびりボランティアの日 いこいこ	【目的】 よこはまシニアボランティアポイント登録研修会の受講者や初めて地域デビューをする方への初めてのボランティアを行う場の提供と居場所・仲間づくり  【内容】 ケアプラザ内での作業。事業で使用する物品の作成や事業の準備等を職員とともに進行	不定期（3月） 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度「横浜市恩田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,721,058		17,721,058	17,721,058	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	17,721,058	0	17,721,058	17,721,058	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,196,122		9,196,122	9,287,724	91,602	
本俸	6,288,275		6,288,275	6,534,035	245,760	
社会保険料	950,445		950,445	687,836	262,609	
手当計	1,832,189		1,832,189	1,983,515	151,326	
健康診断費			0	10,788	10,788	
勤労者福祉共済掛金			0	71,550	71,550	ハマふろんぽ
退職給付引当金繰入額	125,213		125,213	0	125,213	
その他			0	0	0	
事務費	2,698,978		2,698,978	2,726,526	27,548	
旅費	76,665		76,665	102,586	25,921	
消耗品費	298,056		298,056	384,421	86,365	
会議随いつい	0		0	0	0	
印刷製本費	414,319		414,319	449,647	35,328	
通信費	618,029		618,029	637,647	19,618	
使用料及び賃借料	2,760		2,760	420	2,340	
横浜市への支払分	2,760		2,760	420	2,340	
その他			0	0	0	
備品購入費	33,048		33,048	200,664	167,616	
図書購入費			0	17,280	17,280	
施設賠償責任保険	123,224		123,224	213,872	90,648	
職員等研修費	2,500		2,500	8,000	5,500	
振込手数料	45,280		45,280	23,292	21,988	
リース料	263,088		263,088	263,088	0	
手数料	38,089		38,089	0	38,089	
地域協力費	64,000		64,000	69,000	5,000	
その他	719,920		719,920	356,609	363,311	
事業費	56,466		56,466	703,528	663,198	
運営協議会経費	42,000		42,000	25,864	16,136	予算-指定額
指定管理料充当 事業	14,466		14,466	677,664	663,198	
管理費	5,035,872		5,035,872	4,636,619	425,869	
建築物・建築設備点検			0	0	0	予算-指定額
光熱水費	929,330		929,330	955,946	26,616	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	788,358		788,358	788,358	0	
修繕費	474,000		474,000	35,835	438,165	予算-指定額
機械整備費	243,466		243,466	243,466	0	
設備保全費	961,131		961,131	965,397	4,266	
空調衛生設備保守	200,076		200,076	200,076	0	
消防設備保守	63,137		63,137	63,137	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	25,596		25,596	25,596	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	672,322		672,322	676,588	4,266	
共益費			0	0	0	
その他	1,639,587		1,639,587	1,647,617	8,030	
公租公課	680,000	0	680,000	743,017	63,017	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	680,000		680,000	743,017	63,017	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一対対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,667,438	0	17,667,438	18,097,414	419,496	
差引	53,620	0	53,620	376,356	419,496	

自主事業費収入	14,466		14,466	0	14,466	
自主事業費支出	14,466		14,466	0	14,466	
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市恩田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)

(税込、単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,212,000		23,212,000	24,682,719	1,470,719	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	161,605	10,605	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	4,395,908	1,393,092	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0			
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0			
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0			
自主事業収入			0			この列は入力しない
雑入	0	0	0		31,000	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	31,000	31,000	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	29,152,000	0	29,152,000	29,240,232	119,232	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,897,350	0	23,897,350	21,157,050	2,740,300	
本俸	12,295,170		12,295,170	10,002,950	2,292,220	
社会保険料	2,962,981		2,962,981	2,619,416	343,565	
手当計	8,327,161		8,327,161	8,203,098	124,063	
健康診断費			0	17,826	17,826	
勤労者福祉共済掛金			0	313,760	313,760	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	312,038		312,038	0	312,038	
その他			0	0	0	
事務費	1,046,649	0	1,046,649	1,943,842	897,193	
旅費	203,488		203,488	204,449	961	
消耗品費	50,545		50,545	73,374	22,829	
会議贈い費			0	0	0	
印刷製本費	88,628		88,628	113,145	24,517	
通信費	163,735		163,735	301,332	137,597	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0			0	0	
備品購入費	33,048		33,048	486,972	453,924	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	175,020		175,020	145,940	29,080	
職員等研修費	32,957		32,957	58,763	25,806	
振込手数料	8,640		8,640	23,287	14,647	
リース料	54,432		54,432	54,432	0	
手数料	25,393		25,393	0	25,393	
地域協力費	20,000		20,000	20,000	0	
その他	190,763		190,763	462,148	271,385	
事業費	1,133,332	0	1,133,332	5,088,827	3,955,495	
協力医	630,000		630,000	357,000	273,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	43,332		43,332	174,314	130,982	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	161,605	10,605	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	4,395,908	4,086,908	予算:指定額
管理費	1,338,644	0	1,338,644	1,222,988	115,656	
建築物・建築設備点検			0		0	予算:指定額
光熱水費	247,036	0	247,036	254,112	7,076	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	209,562		209,562	209,562	0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	64,718		64,718	64,718	0	
設備保全費	255,489	0	255,489	256,623	1,134	
空調衛生設備保守	53,184		53,184	53,184	0	
消防設備保守	16,783		16,783	16,783	0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	6,804		6,804	6,804	0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	178,718		178,718	179,852	1,134	
共益費			0		0	
その他	435,839		435,839	437,973	2,134	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	27,415,975	0	27,415,975	29,412,707	1,996,732	
差引	1,736,025	0	1,736,025	172,475	1,877,500	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市恩田地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3780	3509	271	19330	20719	-1389			0			0
	その他	4380	4682	-302	450	267	183	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	4380	4682	-302			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	450	267	183			0			0
<b>収入合計(A)</b>		<b>8160</b>	<b>8191</b>	<b>-31</b>	<b>19780</b>	<b>20986</b>	<b>-1206</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
支出	人件費	760	891	-131	18006	18720	-714			0			0
	事務費			0	300	419	-119			0			0
	事業費			0	350	499	-149			0			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	4500	3673	827	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4500	3673	827			0			0			0
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
<b>支出合計(B)</b>		<b>5260</b>	<b>4564</b>	<b>696</b>	<b>18656</b>	<b>19638</b>	<b>-982</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>2900</b>	<b>3627</b>	<b>-727</b>	<b>1124</b>	<b>1348</b>	<b>-224</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。